

いおぎ
だより

杉並区立井荻小学校

平成23年6月30日発行

No. 516

のこぎりの刃？

校長 梅津典子

初夏を思わせる暑い日々が続き、プールでは子供たちが水しぶきを上げ気持ちよさそうに水泳の学習をしています。今年度は放射線量の影響でプールの使用も懸念されましたが、先日お知らせいたしましたように杉並区内での測定では不検出という結果が出ましたので、通常通り水泳指導を行っています。

また、普通教室の空調設置工事も終わり、区の工事終了確認をもって使用してまいりますので、今年の夏は子供たちもよい条件のもとで学習できるものと思います。

ある民間企業から採用された校長先生から「学校の始まりはまるでのこぎりの刃のようだ。」というお話をうかがったことがあります。その校長先生は民間企業から公立の小学校に来て初めて感じたのがこの「のこぎりの刃のようだ。」ということだったそうです。つまり「学校は年度が替わり、担任の先生が替わったり、クラス替えがあったりすると、すべて、ゼロからのスタートになってしまう」と感じたことをのこぎりの刃に例えられたのでした。



もちろん、一つの節目として、新しい学年になって、気持ちを新たに、次の学年での意欲を高

めることは必要です。しかし、子供たちは、前学年の良かった点・課題になった点を引き継いで次の学年に進んでいるのです。前学年で学んだことをもう一度やり直す必要はないのです。学習したこともそうですが、学習用具の準備や使い方、話し方や聞き方、授業中の姿勢など学習の構えや学習態度などについても同じことがいえます。

そこで、井荻小学校では学んだことが、ゼロに戻らず、積み重ねていけるような基本的な生活態度や学習態度について、各学年で身に付けておくことをまとめ、「井荻スタンダード」として表しました。

以前から各学級で指導されてきたことですが、改めて全校で見直し、先生が替わっても、クラスが替わっても戸惑うことなく、今の状態からさらに積み重ねていくことができるようにしました。

井荻スタンダードを保護者の皆様や子供たちに理解してもらい、子供たちが進んで井荻スタンダードを守れるようにするために、リーフレットを作成しました。保護者用につきましては、今月の保護者会で配り説明いたします。子供用は、低学年用、中学年用、高学年用と分けて作りましただので、それぞれの学年に配り、学習の決まりを再確認します。すべての子どもに定着するよう指導していきます。また、学習用具の準備や家庭学習についても記載してありますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

どの子にも分かり、学び合える授業の工夫を目指して

～多様な教育ニーズに対応した指導の在り方～

研究主任 猪刈 恵美子

今年度の校内研究は「どの子にも分かり、学び合える授業の工夫を目指して」というテーマで取り組んでいます。なぜ、このテーマなのかということについて以下に述べます。

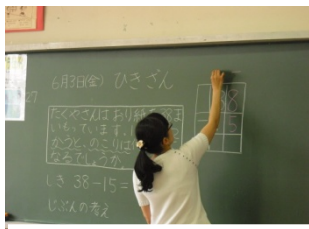
井荻小学校には現在302名の子供がいます。日々の学習活動の中で、どの子も活躍し自信に満ちている場面がたくさんあります。それと同時に、子供なりに困っている場面もたくさんあります。「話すときにどきどきしてしまう。」「文章がよく読めない。」「集団の中で話をうまく聞き取れない。」「じっとしているのがつらい。」「思いつくままにしゃべってしまう。」「計算が苦手だ。」「友達とうまくコミュニケーションがとれない。」等、困り感苦手感をもっている子供たちもいます。もし、毎日の授業の中で、先生やみんなの言っていることがうまく聞き取れなかったり、今学習しているところの計算がすんなりできなかったりしたらどんな気持ちになるのでしょうか。授業がつまらなくなり、学習への意欲が低下し、自分に自信がなくなっていくということも考えられるでしょう。また、分からないことを知られたくないという気持ちを抱えたままではどんなにつらいことでしょうか。でも、どの子供もみんなちょっとしたことで、自信をつけることができる力があります。例えば、眼鏡があれば文字がしっかりと見ることができるよう、『眼鏡の役割をする』分かりやすい授業があったら、子供たちは、自信をもって学習に取り組むことができるのではないのでしょうか。分かりやすい授業はすべての子供たちにとって不可欠のものです。その考えのもとに、井荻小の研究はスタートしました。そのために現在次のようなことを進めています。

- ① 学びの基盤を整える環境づくりをしています。これは、保護者会でお知らせします。
(井荻スタンダードの実践、教室環境づくり)
- ② 授業を観察分析し、子供にとって分かりやすい授業とは何かを確かめる作業をしています。
- ③ 子供の立場に立った理解の仕方を深めています。(授業における児童理解)



この研究によって、

- ・学習しやすい環境
 - ・子供たちの学力の向上
 - ・子供たちの自信
- につながるように、取り組んでいきます。ご協力よろしくお願いします。



見やすい黒板



分かりやすい習字学習の提示



すっきりとした掲示

いおぎまつりへのお誘い

特活部 小室 純子

井荻小では、すでに行われた全校遠足をはじめ、運動会やきょうだい学年集会、各委員会の下級生への働きかけを通して、異学年交流を大切にしています。そのため、自分の学年以外の子供たちのつながりが普段の様子からも同え、井荻小のいいところのひとつと感じています。特に、6年と1年、5年と3年、4年と2年が活動するきょうだい学年は、年間を通して深いつながりが生まれます。そのきょうだい学年が最も活躍する『いおぎまつり』が7月1日（金）に開催されます。きょうだい学年ごとにお店を出す予定です。上級生は下級生のことを考え、下級生は上級生を頼りにしながら、お互いに協力してお店の準備を進めています。毎年アイデアいっぱいのお店が並びますが、より楽しいものにしようと全校あげてはりきっています。ぜひ、お越しになり、普段とは違う子供たちの表情をご覧ください。お待ちしております。

定期健康診断を終えて ～家での健康観察の大切さ～

養護教諭 横山 美佳

今年度も健康診断が終わりました。4月から提出物等のご協力ありがとうございました。保健調査票をはじめとする書類は、お子さんの様子をご家庭と学校が理解する大切な資料です。ただ、この情報は、4月当初のもので、健康診断と同じように、1年間有効な情報ではありません。現在の状態とは違いがあるかもしれませんし、日々、お子さんの様子も違います。その後の検査や受診で、何か変更があればご連絡いただき、ご家庭と学校とで共通理解していき、教育活動に役立てて行きたいと考えています。そこで大切なのは、ご家庭での朝の健康観察です。

□ 顔色はどうか □ よく眠っていたか □ 熱はないか □ 朝ご飯は食べているか などいつもと違うところはないかだろうか、毎日お子さんと接している保護者の方は、その違いがよく分かると思います。そして、お子さんの体調について分かっているほしいです。

体調が悪く、児童が保健室に来た時にきく内容に、『いつから（その症状がある）なのか』があります。「朝から、朝起きたときから」と返ってきます。さらに『そのことをおうちの人に言ったの?』と聞くと、「言わなかった」と返ってくる場合があります。そこで、私は伝えます。『おうちの方は、あなたの様子を一番に知っていてほしい人だから、このことはとても大事なことからきちんと伝えてね。』お子さんによっては、聞かれたことは応える。しかし自分からは言わない。また、首を縦にしたり横にしたりするだけのお子さんも見られます。自分の身体ですので、「自分の体調を伝える」ということを少しずつ練習していくように保健室でもさせていきたいと思っています。朝のご家庭での健康観察の情報は、その後のお子さんの状態の変化、経過観察にとっても役立ちます。

水泳指導が始まっています。水泳学習の日は特に念入りにお子さんの健康観察をよろしく願います。保護者印はその日のお子さんの状態をよくみて、押印をお願いします。特にアレルギー傾向のあるお子さんについては、日々、天候によって違いがありますので、お願いしたいと思います。